



愛知県議会議員（長久手市選出）

石井よしき

連絡先 長久手市長配3丁目210番地 TEL0561-61-2225/FAX0561-62-9511 E-mail: ishi43@peach.plala.or.jp



2023 春

萩生田政務調査会長へ

直接抗議

防衛費増額の税新設について

令和4年12月16日、与党税制改正大綱がとりまとめられ、防衛費増額のための財源の一部を、税の新設によって賄うこととされました。

現下での日本を取り巻く近隣諸国の軍事力強化や、ロシアのウクライへの侵略にみられるように、安全保障への議論と、より一層の環境整備は喫緊の課題であります。

一方では令和4年の消費者物価指数上昇率は約41年ぶりの高水準を記録し、食料品を始めとする生活必需品の度重なる値上げは、コロナ禍での私たちの生活を直撃しています。

また、防衛費の強化は守秘義務があ

るとはいえ、必ずしも私たちに説明が十分に尽くされているとは言えません。とりわけ、税の新設は東日本大震災の復興特別所得税を転用することとされており、被害により未だ自宅に戻れない方もおられる中での転用は認めがたいものがあります。

そこで、萩生田政務調査会長へ、まずは行革をもって財源を生み出し、税の新設については丁寧な説明を求め、併せて、暮らしの負担軽減のため景気経済対策を最優先して、税収・税源の確保を行い物価高騰の克服に向けた更なる取り組みを進めて行くよう求めました。

これを受け、政務調査会長より「47

都道府県で直接の要望は初めてであるが、拙速な議論をするのではなく、来年度に時間をかけて議論し、広く説明ができるよう努めて行きたい」との回答をいただきました。

今後も、県政はもちろんありますが、地元の皆さんとの思いと声を、しっかりと国へも届けてまいります。



斎藤国土交通大臣のもとへ

愛知県
来年度予算の折衝

愛知県の活力を維持するための道路・河川・港湾等のインフラ整備に関する予算を、国に求めるため、国土交通省並びに財務省へ来年度予算要望に行きました。

日本一の産業集積地「愛知」において港湾物流の拠点である港の整備、それを結ぶ道路網の整備や、命を守る防災・減災に繋がる河川整備事業等は国の予算なくして進んでは行きません。

モノづくり県である「愛知」にあって、製造

品出荷額は48兆円で44年連続1位であり、2位神奈川、3位大阪の倍以上の出荷額となっています。またその窓口となる名古屋港は総取扱貨物量では20年連続1位の港ですが、近年では船舶の大型化などの環境変化に対応した港

の整備が必要となってきています。

また、昨今の風水害被害の状況や、南海トラフ地震が想定される中で、防災・減災を含めたインフラ整備は早急に進めて行かなければならない施策であります。

そこで、国土交通大臣に愛知県の抱える問題点や現状を説明し、来年度予算に関する要望を行いました。

※長久手市内に関しても県道瀬戸大府東海線は国の予算に関わる部分が半分を越えており、こちらも併せて行つきました。





古本副知事へ令和5年度予算要望

来年度予算編成にあたって

愛知県での1月は来年度予算の編成時期であります。

そこで、財政を担当する古本副知事へ、原材料、原油価格高騰による医療・福祉施設、学校、運輸、農林水産への財政支援を求め、また、長久手市に関しても、ジブリパーク株式会社の情報開示や、周辺住民の生活環境への配慮、リニモ沿



線の活性化、教育、子育て支援の充実を要望書にまとめ提出いたしました。

結果

2/10の時点では、令和5年の新年度予算において要望の多い県道の修繕や夏場の草刈り、交通安全対策等の予算を付けることができました。

道路・橋梁修繕、草刈り等で	前年度比	108.3%
河川(防災・減災含む)	"	110.5%
治山	"	103.7%
交通安全施設整備費	"	103.4%

ジブリパーク 開園後の駐車場利用状況について



ジブリパーク開園にあたり、地元の皆さんから特に交通対策についてご要望を頂きました。それを受け、臨時駐車場からのシャトルバスの運行や、11月の土日祝日には、周辺住宅地へ車が進入できないように、交差点に交通誘導員を配置し、生活環境への配慮と迷惑駐車防止などの車両誘導を行いました。

周辺道路においても目立った渋滞の発生は確認しておりませんが、11月1日から12月18日まで、「あいち市町村フェア」が同時開催されていたこともあり、

一時的に北1駐車場が満車の日がありましたが、園内駐車場が満車になることはありませんでした。

今後は更に2つのジブリ施設のオープンが予定される中で、地元の活性化と生活環境の保全との両立に努めてまいります。

11月1日から年末までの駐車場利用状況は右に示すとおりであります。

園内駐車場の利用状況

(多目的広場を含む)

平均 駐車台数	
平日	1,457 台
土日祝日	2,431 台
11月全体	1,782 台
平日	1,204 台
土日祝日	1,890 台
12月全体	1,400 台
平日	1,331 台
土日祝日	2,190 台
全期間	1,597 台

※12月29(木)～31日(土)は閉園のため入園者なし

あいち県民の日条例を可決しました

明治時代に廃藩置県がおこなわれ、1872年11月27日に、尾張エリアの愛知県と三河・知多エリアの額田県が合併して、現在の愛知県が誕生しました。今年度は県政150周年にあたり、これを契機に「あいち県民の日」を創設しました。

今後は毎年11月21日から27日を「あいちウィーク」として県の公共施設の全部又は一部の無料化や、県の魅力発信のイベントを行っていきます。

併せて、27日を公立学校で休日にするかどうか、今後検討することとされています。



1872年
(明治5年)
11月27日